

【米ドル建て】中東地域ソーラー事業者支援ファンド(28~40号) の運用状況につきまして

投資家のみなさまにおかれましては、平素より格別のお引立てを賜り誠にありがとうございます。本ファンドシリーズの運用状況をご報告申し上げます。

【本レポートの要旨】

- 本件債務者のGES社（後述）が、2022年8月以降、エストニアグループ会社（後述）への返済のための海外送金を実行できない事態が発生しています。銀行送金の他にも各種の代替送金手段を検討しましたが、送金問題は現在に至るまで解決できておらず、本営業者（後述）は2022年8月以降に満期を迎えたファンド各号を延長しました。
- アラブ首長国連邦（UAE）から海外に向けた送金手段を見出せない状況を受けてエストニアグループ会社はGES社と協議を行い、その結果、GES社がUAE国外で同じ中東地域のバーレーン王国（バーレーン）に新規に法人を設立して、同法人を経由して送金を行うべく会社設立等の手続きを進めております。
- 今後の返済見通しについて、上記送金経路の確保に向けた手続きとは別に、コロナ禍以降に拡大したGES社の借入とキャッシュフローにアンバランスが生じている状況を受けて、GES社は分割返済のための条件変更を求めており、今後具体的な返済計画を協議する予定です。

【本ファンドの概要】

本ファンドにおいて、本営業者はクラウドクレジット株式会社のエストニア子会社であるCrowdcredit Estonia OÜ（以下、「エストニアグループ会社」といいます。）に対して貸付けを行い、エストニアグループ会社はこの借入金を原資として、アラブ首長国連邦（UAE）を拠点に事業を展開するODEH ASALEM AUTOMATION SYSTEMS – ODASCO LLC（以下、「ODASCO社」といいます。）を親会社に持つGLOBAL ENERGY SYSTEMS – FZE（以下、「GES社」といいます。）へ貸付けを行いました。

【これまでに発生した事象】

2022年8月、GES社に対して貸付けたローンの満期日において、GES社がエストニアグループ会社に向けて返済資金を送金する手配を行おうとしたものの、銀行窓口において送金が受け付けられない事態が発生しました。その後 UAE 国内の複数の銀行からの送金の他、銀行以外の送金サービスの利用などの代替送金手段も検討しましたが、現在に至るまで海外送金の手段が見出せない状況が継続しております。そのため、2022年8月期以降に満期を迎えたファンドの各号を延長しております。

GES社の海外送金が妨げられる背景については、GES社取引銀行が情報保護の観点から明確な理由を開示しておりませんが、GES社が親会社である ODASCO 社の資金調達を目的とした SPC（特別目的会社）である等の GES 社個別の事情に加え、2022年以降に UAE が FATF（※）のいわゆるグレーリスト（マネー・ロンダリング対策のモニタリング強化対象国）に指定されたことを受け、UAE 国内においてアンチマネーロンダリングに関する対応が厳格化されたという UAE 国内の状況も関連するものと考えています。おそらく同様の事情で Wise などの主要な国際送金サービスも規制されており、代替の送金手段を見出せておりません。

UAE から海外に向けた送金手段を確保できない状況を受けてエストニアグループ会社は GES 社と協議を行い、その結果、GES社が同じ中東地域で金融センターの特徴を持つバーレーンに新規に法人を設立して同法人を経由して送金を行う方法を取る方針を決めました。GES社は会社設立と銀行口座開設の手続きを進めています。

※FATF（Financial Action Task Force on Money Laundering）

マネー・ロンダリング（資金洗浄）対策における国際協調の推進等を行う政府間機関。

【今後の返済見通し】

上述の通り、現在 GES 社はバーレーン法人設立と口座開設に向けて手続きを進めています。

また、GES社は、コロナ禍以降に拡大した借入とキャッシュフローにアンバランスが生じている状況から、延長中のファンドに関するものを含む今後の返済について、分割返済のための条件変更を求めており、具体的な返済計画を今後協議する予定です。エストニアグループ会社は、GES社のキャッシュフロー以外の返済原資の確保を含め、早期の資金回収に努めてまいります。

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016年3月

【資本金】 1,000,000円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号